

# 函館22

## まちあるきマップ

### 再生した「蔵」めぐり

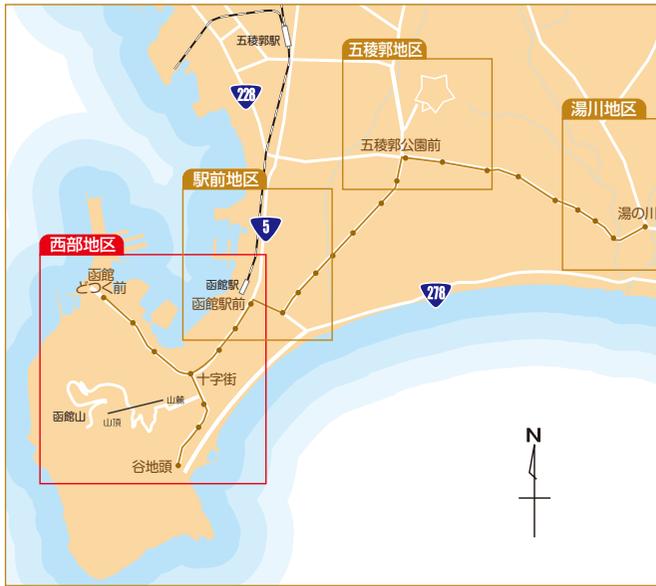
～現在に息づく古き佳きもの～

所要時間 90分 距離 3.5Km 消費カロリー 191kcal

- 蕎麦蔵
- 函館元町ホテル
- 旧相馬邸の土蔵
- 市立函館博物館郷土資料館(旧金森洋物店)
- 箱館高田屋嘉兵衛資料館の蔵
- 紫ぜん
- BAR hanabi
- 茶房ひし伊

地域でつくる  
小さな旅  
優秀プログラム

### 函館全体エリアマップ



### 西部地区



### 再生した「蔵」めぐり

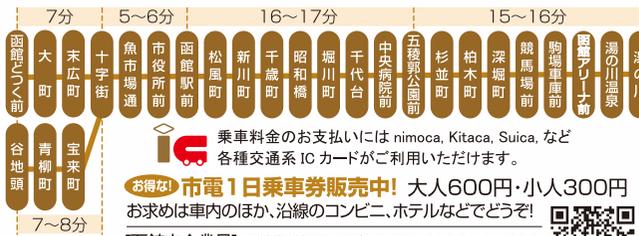
函館  
知ってる?  
知ってる?

大三坂～豊と建築物を愛でる坂～  
西部地区に19本ある坂道の中でも、その美しい石畳と立ち並ぶ教会、当時を思わせる建造物の数々から一際人気のこの坂道は、昭和62年に「日本の坂百選」に選ばれた函館を象徴する坂道の一つです。「大三坂」は、その昔、坂の入口に大三という家印の郷宿(ごうやど)があったことからその名が付けられたそうです。坂道の両脇には街路樹が綺麗に植えられ、四季折々の景色を作り出していることも人気の理由です。



### 函館市電路線図

湯の川～十字街間は6分間隔で運転しています。



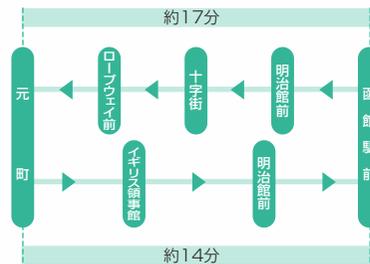
乗車料金のお支払いには nimoca, Kitaca, Suica, など  
各種交通系 IC カードがご利用いただけます。

お得な! 市電1日乗車券販売中! 大人600円・小人300円  
お求めは車内のほか、沿線のコンビニ、ホテルなどでどうぞ!

【函館市企業局】 函館市駒場町15番1号 TEL.0138-32-1730  
<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/bunya/hakodateshiden/>  
ケータイから各電停の時刻表も見られる!



「元町・ベイエリア周遊号」元町観光にとっても便利な循環バス(バス停は主な停留所を記載)  
「元町・ベイエリア周遊号」をご利用下さい。



大人210円・小人110円

函館バス1日乗り放題券  
バス車内に販売中!  
大人800円・小人400円

【函館バス株式会社】  
函館営業所/函館市高盛町10番1号  
TEL.0138-51-3135



函館市公式  
観光情報サイト「はこぶら」  
<https://www.hakobura.jp/>



フェスティバルタウンはこだてサイト  
函館イベントガイド  
<https://event.hakobura.jp/>



発行・お問合せ先

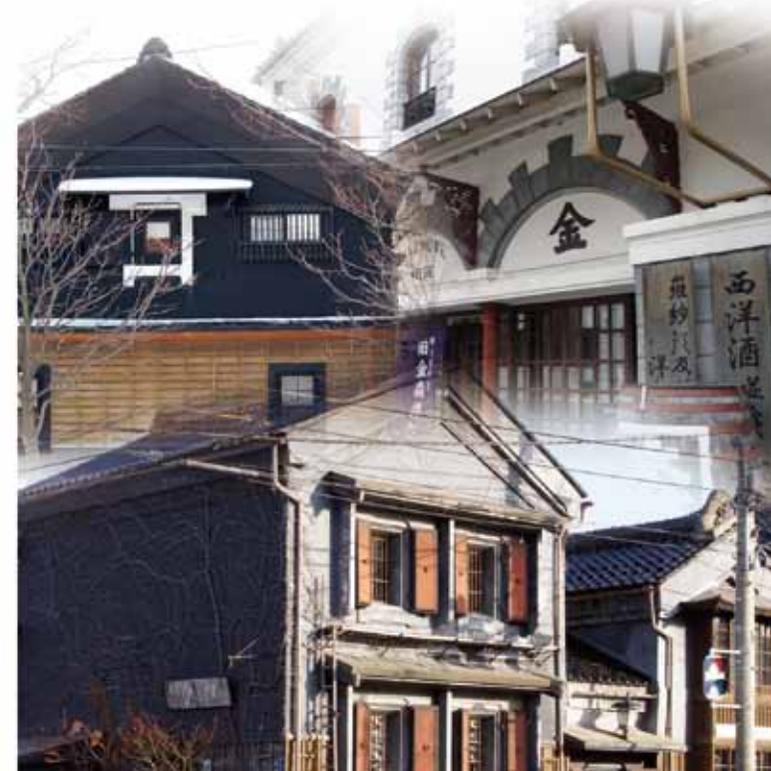


### 函館市観光部

〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号  
TEL.0138-21-3383

### スタート地点までのアクセス

JR函館駅から2.7km(徒歩45分)  
市電(函館駅前より函館どつく前行き)11分



### 1 蕎麦蔵



明治から大正にかけて米屋を営んだ岡田家の米蔵として明治22年に建築された土蔵。建築当時は函館に材木がなかったため、青森から青森ヒバを運んで建てた蔵で、内部は当時そのままの梁などが見られる。

### 2 函館元町ホテル



海運業だった桂久蔵邸の付属土蔵として明治42年に建築され、本邸とともに「桂御殿」と呼ばれた。現在は函館元町ホテル別館の蔵宿「屯所の庵」として活用され訪れる観光客から好評を得ている。

### 3 旧相馬邸の土蔵



明治40(1907)年の大火をくぐり抜けた旧相馬邸左側にある土蔵。内部はギャラリーとして利用され、1階には250~260年前に蝦夷に住んだ倭人の風俗を知る数少ない資料である児玉貞良作「江差屏風」のほか、松浦武四郎の「丁巳日誌」23巻目の原書など貴重な資料を展示している。2階は箱館戦争の錦絵を中心としたギャラリー。

### 4 市立函館博物館郷土資料館(旧金森洋物店)



輸入品販売の金森洋物店として明治13年に建築された白漆喰塗り煉瓦造りの耐火建築物。現在は市立函館博物館郷土資料室として利用されている。

### 5 箱館高田屋嘉兵衛資料館の蔵



明治36年に建築された1号館は石造りで、大正12年に建築された2号館は鉄筋コンクリート造りの蔵で昆布倉庫として利用していた。現在は箱館高田屋嘉兵衛資料館として開放している。ミシュラングリーンガイド・ジャポンで一つ星として紹介された蔵。

### 6 紫ぜん



明治末期に呉服商の反物倉庫として建築された木骨2階建ての土蔵。現在はレストランとして利用されている。

### 7 BAR hanabi



石造りの内部とモルタルや漆喰塗りの外壁をもつ蔵は、大正7年に建てられた国松酒店の蔵。蔵の入り口や内部は店主自らが改装し、蔵の構造も一部見ることができる。現在はBARとして活用され、地元客に愛されている。

### 8 茶房ひし伊



旧入村質店の蔵として、明治38年建築の土蔵の他に大正10年に建て増しされた石蔵がある。三度の大火をくぐり抜けた函館蔵では珍しい「江戸黒」の蔵で、現在は喫茶店・着物アンティークのお店として活用されている。

## 再生した「蔵」めぐり ~いまに息づく古き佳きもの~

所要時間 90分 距離 3.5km 消費カロリー 191kcal ※消費カロリーはおおよその目安です。



**スタート!** 函館どっく前電停

**ゴール!!** 宝来町

19本ある坂の最西端の坂道。魚群がよく見えたことから名付けられました。

ペリー艦隊来航時に水兵2人を埋葬したことが始まりとされ、明治3年に正式に外国人墓地と定められました。

山裾の西側に位置し、函館湾を一望出来る眺めは最高!映画ロケにも使われています。

洋風・和風・和洋折衷の建築物が立ち並ぶ函館らしい通りです。土産店や喫茶店なども立ち並んでいます。

「チャチャ」とはアイヌ語で「おじいさん」を指し、おじいさんのように腰を曲げて歩くほど急な坂という意味でこの名前がついたそうです。

撮影オススメポイント!!

- 喫茶・休憩
- おみやげ売店
- 食事処
- トイレ
- 多目的トイレ
- 駐車場
- 元町・ベイエリア周遊号バス停

函館市水産物地方卸売市場

明治44年に函館郵便局として建てられ、現在はショッピングモールになり手作り体験なども楽しめます。

日本最初のコンクリート寺院。国の重要文化財。

電車通り沿いや護国神社坂沿いには、古くから営業している老舗の飲食店や和菓子屋、オシャレなカフェが点在しています。